

# 交流の様子

Interchange

異文化に触れ、同年代の青少年との交流や様々な学習体験を通して、国際感覚を養うとともに、相互理解と友好を深めることを目的に、昭和63年(1988年)から両市区の青少年の派遣・受入を行っています。

青少年交流



平成13年(2001年)  
友好都市締結15周年

記念事業として、「八尾市青少年スポーツ交流団」が嘉定区を訪問し、バスケットボールの交流試合をはじめとして様々な交流を行いました。

Basketball



平成24年(2012年)  
日中国交正常化40周年

記念事業として開催された「日中友好交流都市中学生卓球交歓大会」に八尾市と嘉定区が合同チームを結成し、大会に参加しました。

Table Tennis



両市区の友好関係の絆をより一層深めるために、代表者の派遣・受入を行い、交流事業の協議やまちづくりについて意見交換をするとともに、互いの文化や実情を知るために各施設の視察などを行っています。

また、受入に際して、八尾市日本中国友好協会と協力し、多くの市民が交流できる取り組みを行っています。

友好交流



平成28年(2016年)友好都市締結30周年



面積	464km <sup>2</sup>
平均気温	15.4°C(温暖)
年間降水量	1077.6mm
人口	156.8万人(2015年末)
友好都市	日本 大阪府八尾市(1986年) ニュージーランド ハウラキ市(2001年) ドイツ ニーダーザクセン州ヴォルフスブルク市(2007年)

上海市の西北部に位置します。現在まで約800年の歴史を有し、区内には歴史的旧跡が数多く保存されており、近年、新興観光都市としても急速な発展を遂げています。

また現在では、多くの科学技術の研究所、大学、工場、高層ビルなどが区の中心部に立地しています。さらに高層住宅を中心とした新しい居住区が計画的に建設され、豊かな街路樹の緑に囲まれた新しい市街地が形成されつつあります。



嘉定区について About





# 経緯

## Story

昭和53年(1978年)、日本と中華人民共和国は「平和友好条約」を締結しました。昭和54年(1979年)、八尾市において第1次八尾市民各界日中友好訪中団が結成され、歴史、文化のつながりが深い中国の各地を訪問し、上海市革命委員会に友好交流都市の紹介を依頼しました。

昭和55年(1980年)には、民間としての交流を始めるために、八尾市日本中国友好協会が結成されるとともに、昭和57年(1982年)4月、上海市人民政府から大阪府を通じて上海市嘉定区(現在の嘉定区)を紹介され、第2次八尾市民各界友好訪中団が嘉定区を訪問するなど、八尾市民と嘉定区民の市民レベルの交流が始まりました。

昭和61年(1986年)9月13日に「長期的な友好協力を強化し、経済、文化、科学技術、体育などの方面の友好交流を進展させるため」に友好協力に関する議定書に調印しました。

友好都市締結からこれまでの30年間に、青少年交流や友好交流事業を通して数多くの市区民が交流し友好を深めてきました。

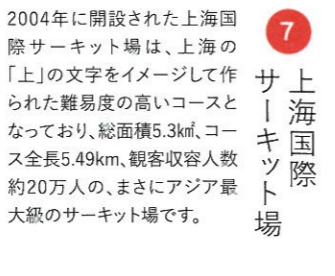
## 交流のあゆみ



友好都市締結15周年[平成13年(2001年)]に建立した記念碑「友誼苑」



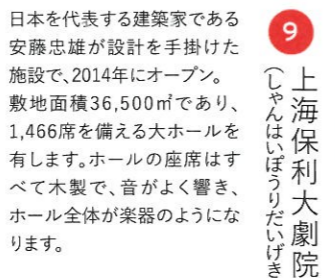
6 南翔双塔  
(なんしやうそうとう)  
510年頃創建。1985年の末から一年あまりをかけて修復が行われ、もとの塔の姿を取り戻しました。外観は江南木造楼閣式の塔を模したもので、塔の上に炎の形をした壺門があり、素朴な四角い格子窓、細い欄干、優雅にそそりたつ塔寺は、唐宋建築様式の典型です。



7 上海国際サーキット場  
2004年に開設された上海国際サーキット場は、上海の「上」の文字をイメージして作られた難易度の高いコースとなっており、総面積5.3km、コース全長5.49km、観客収容人数約20万人の、まさにアジア最大級のサーキット場です。



8 嘉定図書館  
(かていとしょかん)  
2013年にオープン。建築面積は1.6万㎡、閲覧席数は981席あり、約60万冊の図書有しています。館内には、一般図書貸出コーナー、マルチメディアコーナー、24時間セルフ図書館、少年児童図書館、視力障がい者用閲覧室、視聴室などの設備が設けられています。



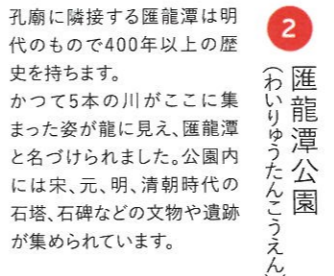
9 上海保利大劇院  
(しやんぱほりだいげきいん)  
日本を代表する建築家である安藤忠雄が設計を手掛けた施設で、2014年にオープン。敷地面積36,500㎡であり、1,466席を備える大ホールを有します。ホールの座席はすべて木製で、音がよく響き、ホール全体が楽器のようになります。



10 韓天衡美術館  
(はんでんこうびじゅつかん)  
書道・篆刻(てんこく)の巨匠韓天衡(はんでんこう)が嘉定区政府に1,000件以上貴重な芸術品を寄贈したことを受けて、2013年に開館しました。施設内では、展示ホール、臨時展示ホール、多機能会議室と教育研究基地などの施設と、先進的な展示システムを備え、博物館と美術館の両機能をもっています。



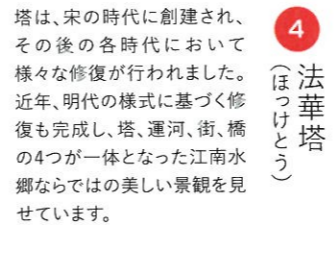
1 孔廟  
(こうびやう)  
1219年創建。廟内には古風で素朴な櫺星門(れいせいもん)、泮池(はんち)と言われる美しい河と古い橋、精美な石の彫刻や石碑の数々、枝を伸ばしたコノテガシワの古木、さらに古代学府の明倫堂と孔子を祭った大成殿があります。



2 匯龍潭公園  
(わいりゅうたんこうえん)  
孔廟に隣接する匯龍潭は明代のもので400年以上の歴史を持ちます。かつて5本の川がここに集まった姿が龍に見え、匯龍潭と名づけられました。公園内には宋、元、明、清朝時代の石塔、石碑などの文物や遺跡が集められています。



3 秋霞園  
(しゅうかほ)  
上海五大古典庭園の一つに数えられ、上海最古の庭園です。明代の1502年に造園されました。園内には東屋や楼閣(ろうかく)が配され、美しい河が蛇行して流れ、長く伸びた竹が竹林をなしています。



4 法華塔  
(ほっけとう)  
塔は、宋の時代に創建され、その後の各時代において様々な修復が行われました。近年、明代の様式に基づく修復も完成し、塔、運河、街、橋の4つが一体となった江南水郷ならではの美しい景観を見せています。



5 古猗園  
(こいえん)  
明の時代に創建され、園内の樹木や石の配置は明代嘉定の竹刻家朱三松によるものと言われています。園内は、緑竹をモチーフとし、楼閣や東屋、石筋や四方を展望できる高殿があり、竹林は奥へと続き、古木や美しい花が咲き、石の小道のそばを川が流れています。



## 嘉定区ガイドマップ

Guide Map